

第3回審議会でのご意見と今後の対応（10月27日）

項目	ご意見	計画での整理, その他対応	
保健・医療	P.1	がんというと大事なことだと思うが、がんにかからないための施策が必要。早期発見の前に食事やアルコール摂取・たばこ吸いすぎ防止等の取組が大事なことではないか。健康づくりや食生活などの言葉があってもいいのではないかと思う。	ご意見を踏まえ、施策1の主な取組に追記しました。
	P.1	健康寿命という点で、心の体の健康づくりについて、文化的な活用、生涯活動も心の活性化として、健康事業に必要なではないか。	施策2の中に、ご意見の主旨を含めて記載しています。
	P.1	たばこや食事、アルコールに関する取組は重要だが、個々に掲げるのが限られたものであればそれぞれの計画で取り組めばいいのかと思う。	個別計画で具体的な取組を推進します。
	P.1	無医地区数の全地区数は。そのうち医師が必要な地区数は。	無医地区数は8地区でそこには交通や往診などで対応するというを意味しています。
	P.1	中央病院の医師数目標は90人で大丈夫か。	中央病院の建替とともに高度医療や医療体制の充実を図り、現状以上に医師を確保していきます。
	P.1	三次中央病院の産後の食事の量や質が良くないと聞くので、医療の質の維持・向上以外に、サービスの観点を入れたらどうか。	栄養の観点も含めて医療の提供になります。ご意見として承ります。
福祉	P.2	高齢者の暮らしやすい市民の割合というところで、あらゆる人たちが、暮らしやすいための取組が書かれていて、これはこれでよい。	ご意見として承ります。
	P.2	「高齢者が暮らしやすい」と思う市民の割合、「障害者や生活困窮者が暮らしやすい」と思う市民の割合、もう少し高い目標が必要では。	ご意見を踏まえ、指標の目標値を修正しました。
	P.2	「高齢者が暮らしやすい」と思う市民の割合が低い現状値になっているのはなぜなのかを解決して目標値をあげなくては。少なくとも3人に1人の割合はあった方がいいのでは。	
	P.2	「お互いに相談したり、助け合ったりしている」市民の割合ももう少し高くてもいいのでは。意識の方が重要。	
	P.2	子どものことが文章の中から見えてこない。子育てや教育のところでも。障害者手帳を持たないまでも発達障害がある子ども、特に中高生は市外の学校に行かないと支援が受けられない状況で送迎など福祉のフォローが必要では。	ご意見として承ります。
	P.2	障がい者支援センター支援件数の支援は相談件数か、相談後の解決件数か。	相談件数のことです。
	P.2	生涯学習があることで、福祉分野にも非常に良い結果がもたらされる。相談などの助け合い、カフェなど民間の活動によって「お互いに相談したり、助け合ったりしている」市民の割合が増え、福祉分野でも住みやすいと思えるまちづくりにつながるのでは。	ご意見として承ります。
	P.2	「障害者や生活困窮者が暮らしやすい」という漠然とした表現は、金銭的なことなのか、心の拠り所なのか、買い物しやすい生活しやすいという意味なのか明確に表記される方がいいのでは。	包括して質問する項目ですので、このままの表記とします。
多文化・共生	P.3	数値目標については、目標値を高くしても良いのでは。「積極的に育児をしている父親の割合」などアンケート調査による目標値は、丸めた数字でよい。小数点以下は省略。	ご意見を踏まえ、アンケート調査による目標値を整数に修正しました。
	P.3	数値目標の目標値、10%上げるとい趣旨は分かるが、目標	

		値は丸めたものでよい。	
	P. 3	施策1のめざす姿「男女が、互いに」「女性が自分らしい」とあるが、女性がということが強調されている。どの性にもかわらず、自分らしい働き方は大切。ジェンダーのことを考えて書き方を考えた方がいい。	ご意見を踏まえ、施策の構成や KPI、目標指標等を修正しました。
	P. 3	「女性が」「男女」ということばがひっかかる。男女共同参画社会は何十年も使われていた言葉。変えてもいいのでは。すべての人が参画できる社会がいいのでは。KPIも育児をしていない男性や働いていない女性もいる。すべての方、個々が参画している社会というところが見えてくればいいのでは。	
	P. 3	ゆずりあいという言葉遣いにひっかかる。自分のものを分けてあげるといった上から目線を感じるので他の表現がないか。	「お互いに」ゆずり合うという意味で使用しています。
	P. 3	パートナーシップ宣誓制度の申請件数を目標値に設定することは違和感がある。多様性を認めることの重要性を広く知っていただくための手だては他にあるのではないのでしょうか。	ご意見を踏まえ、指標から削除しました。
自然環境	P. 4	現状と課題で、「取組を進めているところで」を「ところである」としていただきたい。現状と課題、施策で、3Rと4Rの表記の統一を。ごみの資源化率、目標値を丸めて、もっと高くてもいいのでは。	ご意見のとおり、標記の統一をし、指標の目標値を修正しました。
	P. 4	ごみの資源化率の目標値、目標が高くてもいいのでは。1人当たりのゴミ排出量についても下げる目標であってほしい。	三次市のごみの資源化率は県・全国と比べても高い数値で、目標値と掲げる数値は決して低い数値ではありません。一人当たりのゴミ排出量は人口が減る一方、遺品や空き家等のゴミ排出量は増えている状況で、現状を維持しようという趣旨でしたが、今後もそういった状況によりごみ排出量削減の目標値を算出することは困難なため、今回の指標から削除します。
	P. 4	一人あたりのゴミの排出量、現状値はコロナ後の数字か。コロナを経験して、経済が落ち込むと、ゴミが出ない。どう減らすかが大切。	令和4年度の数値です。具体的な取組・事業で検討します。
	P. 4	家庭ごみの排出量が測れるのであれば、それを書くなど検討していただきたい。	一般ごみとして、家庭・災害ごみも含めた排出量になります。
	P. 4	めざす姿に「企業」とあるが、施策では読み取れない。TNFDの取組もある。企業と地域の連携が見えるような施策があったらいい。河川管理者としても環境教育に取り組んでいるがそういった点が施策には見られない。数値の75.9が高いかは別として、保全プラス創出の概念を考えてもらいたい。	ご意見を踏まえ、主な取組に追記しました。
生活基盤	P. 5	社会資本の長寿命化とあるが、統廃合等も検討すべき事項である。橋梁については、だれがいつ作ったかわからないものの維持管理が課題。	ご意見を踏まえ、施策1のめざす姿の内容に追記しました。
	P. 5	施策2「自然環境と歴史風土が融和した景観形成」がここにあるのは違和感を感じる。施策分野「自然環境」に属するのではないか。	ご意見を踏まえ、施策名を修正しました。
	P. 5	公園やまち並みの環境維持に取り込む維持だけではなく改善というところまで視野を広げていただきたい。	ご意見を踏まえ、施策2の主な取組に追記しました。
	P. 5	三川合流部周辺を中心ににぎわいづくりを推進するとあるKPIには三次駅周辺の都市的賑わいの指標になっている。三次駅周辺の都市的賑わいの指標は経済の分野ではないか。	ご意見を踏まえ、施策2の主な取組の内容を修正しました。

	P. 5	公共交通の利用者数がKPIにあるが人数ではなく割合にしてはどうか。	ご意見を踏まえ検討した結果、利用者の割合は算出が難しいですが、一人当たりの路線バス利用回数に修正しました。
	P. 5	「まちと田園風景の調和が取れた景観形成を進めるとともに、市民との協働の推進による…」とあるが、この案件については、指定管理物件ということで、住民自治組織が受けることであると思う。施設の縮小も考えていかななくてはならない。統廃合を含めて強く書き出していきたい。	施策1の中で、統廃合を含めて考え方を整理しています。
	P. 5	三川合流部を活かした賑わいづくりは素晴らしいこと。花見遊覧ができるような取組も進めていきたい。JR三江線の廃線の経験もあるが、移動手段を確保することは重要。	ご意見として承ります。
	P. 5	学校の統廃合については、経営の効率化の面からではなく、地域のにぎわい拠点という意味でも存続の方向性も大切かと思う。	ご意見として承ります。
	P. 5	JRIについては、スイカが使えない。デジタルの視点があると良い。	ご意見を踏まえ、施策3の主な取組に追記しました。
	P. 5	実験的な取組として、ライドシェアの議論が始まったところ。タクシー業者との競合もあるが、三次版ウーバーのような仕組みも含めて、こういった取組を試験的に導入することも必要だと考える。	施策3の中に、考え方を整理しています。
	P. 5	公共交通について、路線バスが走っているが、乗車人数が少なく空気を運んでいる状態。近隣の方が送っていくとか、そのような活用策をしなければ持続可能な交通に繋がらないのでは。	施策3の中に、考え方を整理しています。
	P. 5	空き家の問題について、所有する山の境界もどこまでが自分の土地なのかがわからない課題で、調査に関することも入れていただきたい。	ご意見を踏まえ、施策2の主な取組に追記しました。
	P. 5	道路の改良率の目標値が現在とほとんど変わらないことに疑問がある。高齢者や学生にとって危険な箇所があるのでどうか。	道路改良率の対象は全市道の道路延長になりますので、決して低い目標値ではありません。
	P. 5	公共交通について、ジャンボタクシーのような形を導入して、利用者を増やしていけたらいいのでは。	ご意見として承ります。
	P. 5	施策2に中心市街地だけでなく周辺部のことも描かれている必要がある。	ご意見を踏まえ、施策2の内容を修正・追記しました。
防災減災・安全	P. 6	災害情報の入手手段を持った市民の割合100%は感動した。逃げ遅れゼロをめざすということで、防災教育が入っていないのが気になる。国の機関としても協力していきたいところ。	ご意見を踏まえ、施策1の主な取組に追記しました。
	P. 6	防災士の育成とあわせて自主防災組織と防災士の連携も入れていただきたい。防災教育は子どもだけでなく、親も含めて進めていくべき。	ご意見を踏まえ、施策1の主な取組に追記しました。
	P. 6	避難訓練に参加した市民の割合について、重要なことは参加できない人の命をどう救うかということで参加した市民の割合だけで測るのは危険では。	参加する市民の割合を増やすことも大切であると捉え、指標はこのままとします。ご意見への対応は、具体的な取組・事業で検討します。
	P. 6	防災士の育成は私も大賛成。組織がしっかりと機能すべき。	ご意見として承ります。
	P. 6	女性の視点を取り入れた防災の取組が以前は入っていたがなくなった。避難所の運営では女性の視点が重要でどこかに女性の視点を入れていただきたい。	女性の視点も含めて取り組んでいきます。
	P. 6	避難訓練に参加した市民の割合については、介助が必要な人、当日の天候や体調など環境によって参加できない人に対	具体的な取組・事業で検討します。

		しては、訓練後チラシを個別配布するなどきめ細かな取組が大切。	
	P. 6	KPIはあまり出すことは望ましくないが、取組方向性として、広い意味での災害弱者をどうインクルージョンしていくかを表現していただきたい。	ご意見を踏まえ、施策1の主な取組に追記しました。
	P. 6	流域治水の取組など自然や景観と関係してくる。バランスを見ながらやっていく必要があると思うので、各施策のバランスや優先順位をつければわかりやすいのでは。	主旨・考え方を承りました。
	P. 6	性犯罪の対象は女性が多いと思うので、対象を子どもに限るのはいかがか。認知件数を指標にしているが、相談できるところが少なく被害にあっても言えないのは事実で相談件数が少ないからよいというのは違う。相談窓口を知っている市民の割合といった指標にした方が適切では。	ご意見を踏まえ、施策2の主な取組、指標を修正しました。
	P. 6	めざす姿に防災・防犯体制と一緒にされているが両者は話が違うので分けて聞いたほうがいいのでは。	ご意見を踏まえ、目標指標を修正しました。
	P. 6	防災知識を深める教育的な面が必要。	ご意見を踏まえ、施策1の主な取組に追記しました。
	P. 6	防災減災・安全のSDGsについては「13」も該当するのでは。	ご意見を踏まえ、修正しました。
子育て	P. 7	めざす姿の主語が保護者になっている。これからの子育てはこどもが主体で語られる時代なので主語は子どもであるべきでは。子育てと教育をどのように分けられているのか。子育て分野は就学前に偏っている。小中高の間も保護者は不安を感じたり行き場を失っていたり相談しにくい状況がある中、就学後もフォロー体制が必要。教育分野は学校中心の書き方になるので、子育て分野でどう就学後をフォローするかを示すべき。	ご意見を踏まえ、めざす姿を修正しました。また、施策1において、就学後を含め18歳までの切れ目のない支援に取り組むこととしています。
	P. 7	福祉の話と関連して、障害児や日常的に医療的ケアが必要な子ども、ヤングケアラーの支援体制についてもここにに入れてほしい。子どもの貧困対策も重要。	障害児や医療的ケアが必要な児童については、政策1「福祉」の施策2に記載しています。その他のご意見については、ご意見を踏まえ、施策3の主な取組に追記しました。
	P. 7	KPIの現状値が90%なのにどこをどう改善するのか。そうではなく、みなさんが困っていることを問題点として設定すべきではないか。	毎年、保護者や職員が変わる中で、目標値を高めていくことも大切であるため、このままとします。
	P. 7	子育てが就学前ばかりに偏っているのももう少し広げてほしい。子育て期をわかりやすくすべき。	施策1の子育て期とは、概ね18歳までを対象としています。
	P. 7	KPIの「育てにくさを感じたときに対処できる親の割合」については、相談できる親に割合ではないか。対処と表現するのはどうか。困難を抱える子どもと育てにくさという表現が飲み込みにくい表現。	ご意見を踏まえ、施策1のKPIと施策3の主な取組を修正・追記しました。
	P. 7	幼保小の連携とあるが、KPIでは保育所に通っているのみになっている。ちゃんと連携するのであれば、幼稚園も含めた設定が必要では。	測れる指標として適切なものはありませんので、このままとします。
	P. 7	保育所の規模の適正化の中に処遇改善を視点として入れてほしい。	施策2の中に、ご意見の主旨を含めて記載しています。
	P. 7	保護者と親が出てくるが、意図的に使い分けているのか。	ご意見を踏まえ、表現を統一しました。
教育	P. 8	教育分野は、学校教育だけ述べられて社会教育がないのが不安。社会で子どもを育てることならば、子育てで表現するのが良いか、教育で表現するかを再整理してほしい。	政策4「芸術・文化」の施策3の中で整理しています。
	P. 8	近年不登校が多くなっている。子育ては総合的な面を考えるべき。全体的に子育てに十分配慮があり子どもが育っていく	施策2の中に記載しています。

	ことで地域の活性化につながる。不登校対策についても入れていただきたい。	
P. 8	コミュニティスクールと地域学校協働活動の取組の中に、総合型地域スポーツクラブまたは地域団体を入れていただけると、私たちが活動している意味がある。	多様な主体（NPOや企業、団体等）を含めて「地域」と表現していますので、このままとさせていただきます。
P. 8	学校規模適性化に取り組むとあるが、少人数の中での教育を望む子どもや親もいることも含めて小規模校の存続も考えてほしい。	ご意見として承ります。
P. 8	学校給食のKPIの現状値は出せないのか。今までの割合があったのでは。	学校給食における地元野菜の使用は、今までは品目ベースです。金額ベースでの算出はしていません。
P. 8	施策1のタイトルとKPIがマッチしていない。施策2の3番目のKPIのような、何か対策を行っている学校の割合（なかなか体験できないことをさせたという、何か貴重な経験を育むということができた学校）のような数が出された方がいいのでは。	ご意見を踏まえ、施策1のKPIに指標を追記しました。
P. 8	施策3に子どもの創造性を育むとあるが、学校の建物としての環境が大切で子どもの意見や保護者の意見を取り入れた環境づくりをめざしてほしい。	学校の建設・整備は、保護者の意見を取り入れながら進めているところで、ご意見として承ります。
P. 8	安全安心な給食とあるが、他は安全ではないわけではないので、地産地消を推進するという表現でよいのでは。	ご意見を踏まえ、施策3を修正しました。
P. 8	発達障害の子どもがいじめで不登校になることもあるので、そういうときに親に対する支援をどこかに入れてほしい。	ご意見を踏まえ、施策2を修正しました。
P. 8	教育だけめざす姿に入る項目が多い。表現の工夫が必要。	教育大綱の基本理念に基づいて設定していますので、このままとします。
全体・その他	数値目標の設定のところに質問や意見が集中している。実現が難しいものがたくさんあるが精査して設定してほしい。複数の分野で教育の重要性の発言あり、各項目に入れるかまとめるかの検討が必要。数値目標の考え方については、共通理解のもとで設定してもらいたい。	ご意見の主旨を承りました。
	KPIで設定されている項目ですでに現状値が8割を超えているものをKPIにあげることは、たくさん入っているが必要なのか。KPIが良くなる悪くなるについては分かるが、良くなる水準が分からない。全国の平均とか、進んでいる自治体と比較してどうか、一人当たりどうなのか、人口何人にたいしてこうなっているといったベンチマークがほしい。	ご意見の主旨を承りました。
	大きなテーマの文章を考えると、関連するところがたくさんある。子育て、地域社会など、内容表現を組み合わせた上で、関連性を含めて検討していただきたい。	ご意見の主旨を承りました。